



### 美しいオリックス (サンブール)

野球にも使われたオリックスは肩高120センチ。オスもメスも真直ぐに伸びた長い角を持ち、群れて行動する。

左端はメス。子供のむこうはオス、オスはメスの後ろ脚を前脚でチョンチョンと触れて求愛行動をした。



### 陸上で最も重いアフリカゾウ

インドゾウよりひとまわり大きく、この象牙の輸出入は禁止されている。サバンナでビッグファイブ（アフリカゾウ、クロサイ、ライオン、ヒョウ、チーター）と呼ばれているものの中でやはり別格の風格がある。

虫や、暑さ避けのために泥を体に塗り付けるため、ツァボのものは赤茶色、その他の場所のものは灰色をしている。

移動の際には子供を間に置いている。



### インパラのハーレム Impala (サンブール)

おなじみの動物、後ろ足のかかとが黒い特徴があり、ハーレムをつくる。強い雄1頭に雌十頭の場合もある。たて琴のような美しい角は雄にしかない。日本のシカほどの大きさでカモシカの仲間（ただし、ニホンカモシカはウシの仲間）。







サイクスモンキー（ケニア山国立公園）  
マウンテンロッジ玄関前

玄関前の通路でじっと待っていると、高崎山のニホンザルのように近くでまったく気にせずいろいろな行動を見せてくれる。

順位関係が明らかになるマウンティング、親密さの分かるグルーミングなど時間を忘れさせてくれる。

このサルは部屋迄入ってきてアメの袋を取って行った。

サバンナの代表的な一次消費者ヌー  
（マサイマラ）

セレンゲティも含めおよそ150万頭もいると言われている。バッファローに似た角をもっている。マラ川を渡る時の大群の移動は壮観で、あまりにも有名である。

顔には黒のまだら模様があり、尾が黒くてひげが白い。体重約250キロ。ウシカモシカの仲間。ハイエナ、ライオンなどの標的でもある。



思わず感激するゲレヌク（サンブール）

首と足が長くグラントガゼルによく似ている。後ろ脚で立ってこのようにアカシアの葉を食べる様子は可愛らしくて興味をそそられる。

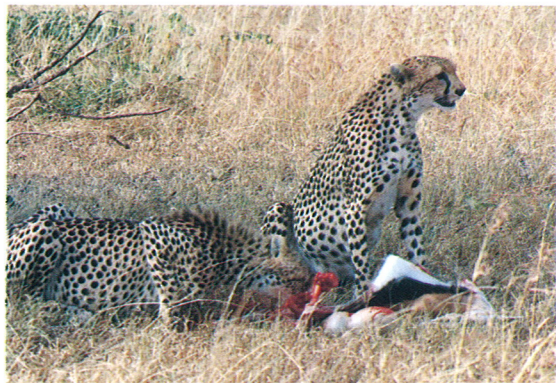
角はオスだけにしかなくグラントガゼルとは異なる。

スワヒリ語でSwala-Twiga（カモシカキリン）と呼ばれるようにキリンとの系統関係が伺える。



サファリカーの直ぐそばで（マサイマラ）

時速100キロを越える猛スピードでトムソンガゼルなどの小型草食獣を狩るチーター。ガリガリと骨をかじる音が聞こえた。







グレイビーゼブラ Grevy's Zebra

この写真を手に持って回してみると目が回りそう気がする。サンブール国立保護区で見られたこのゼブラはシマ模様が細くて美しい。耳の形も動物園のコモンゼブラ（右）と違って丸みがあり大きい。

ライオンと草食動物の群れ（マサイマラ）  
悠然と草をはむ群れの右端に見張りのトピが一頭、その後ろにシマウマなどの見張りがいてライオンを警戒している。彼から始まろうとしているドラマを待ち遠しそうに見つめるハゲワシ2羽。

イネ科植物が茂る広大なサバンナの支える動物たちのドラマは、パノラマのいたる所で展開する。



ハゲワシとブチハイエナ（マサイマラ）  
トピを食うブチハイエナにしつこくつきまとうハゲワシ。次々に集まって来てハイエナをイライラさせる。

それぞれの動物たちにはそれぞれの役割があることを感じさせてくれる。

ブチハイエナの胸から上は、がっちりしていて重い獲物をくわえて運ぶのに適している。